大阪日日新聞
4月4日（水）
2012年（平成24年）

かんさい関西あの人この人

医療、福祉に特化し業績

上田公認会計士事務所 上田久之所長

「医療・福祉業界に強い会計事務所」と評判なのが上田公認会計士事務所（中央区道修町1丁目）。前年を上回る売り上げを上げている会計事務所は、10社に1社の割合といわれるなかで、同事務所はここ10年増収を続けている。

この「元気な会計事務所」のトップリーダーが上田久之さん(58)で、「医療・福祉の業界に特化したニッチ戦略が功を奏しています」と笑顔を浮かべる。

「医療・福祉業界に特化したニッチ戦略が功を奏しています」と笑顔を浮かべる上田さん

上田さんは神戸大学在学中に公認会計士試験に合格。新日本監査法人を経て、1983年に開業した。同監査法人は日本の4大監査法人の一角を占める監査法人といわれ、しっかりとした人材育成システムを構築。上田さんも公認会計士、税理士として、顧問先企業に対するコンサル、新規開拓営業などで力量を発揮している。

開業の際、「健康と命に関わる医療業界は業種としてなくなることはない」と、最初の顧問先として病院と契約。医師法など医療に関する法規の知識、医療情報なども必死に吸収しながら顧問先を増やしていった。

「顧問先にいかに喜んでもらえるか。依頼された仕事内容にプラスアルファの付加価値をどう加えていくか」を念頭に、会計事務作業以外に経営面の提言や、業界の最新情報などをきめ細かに提供。誠実な人柄もあって、着実に信頼を獲得していった。

「あるお客さまが亡くなられた際、遺言書が見つかり、奥さん宛てに『相続の件は上田さんと相談すること』と書いてありました」と振り返る。

今では、従業員43人の会計事務所に成長。病院、歯科医院、社会福祉法人、介護施設、公益法人など530社（団体）の顧問先があり、デフレ不況の中にあっても着実に業績を伸ばしている。

上田さんは「ことし開業30周年を迎えます。医科、歯科、公益法人、社会福祉法人、介護事業の5本の柱をより強固にして、お客さまの良きパートナーとして、全従業員が一丸となって飛躍していきたい」と話している。

問い合わせは電話06（6222）0030、同会計士事務所へ。